

INFORMATION

JCMU公開講座のお知らせ

滋賀県国際協会では、地域社会の国際化と国際理解への貢献を目的として、ミシガン州立大学連合日本センターと連携して様々なテーマの公開講座を実施してきました。これまでの開催回数は100回を超えています。12月12日(土)に第103回公開講座を開催しました。

第103回公開講座

「The 2016 United States Presidential election」



アメリカの政治と経済に造詣の深いベンジャミン・マクラケンJCMU所長が、日本人にとって複雑でわかりにくい『アメリカ大統領選挙』について、その制度を中心に平易な英語による講演を行いました。講演の後は受講者との間で活発な意見の交換が行われました。

今回は東京大学i.schoolコミュニケーション・マネージャーで“知の構造化センター”特任研究員の中山郁英氏(虎姫高校出身)によるワークショップです。

テーマ:「クリエイティブ思考入門」

～How can we create new ideas?～

日時: 3月12日(土) 13:30～

場所: JCMU大会議室

どうぞお気軽にご参加ください。

※詳細は当センターHPをご覧ください。

また、今後の講座についてご要望のテーマがあれば、お知らせください。

2016年度こども英語教室 受講生募集

【クラス】

ファースト・イングリッシュ(1歳半～)

Pre-K(年少～)

Kids 1-A/1-B(年中～)

Kids 2(Kids 1 修了レベル)

Kids 3(Kids 2 修了レベル)

まずは体験
レッスンに
お申し込み
ください



2015年クリスマスレッスンの様子

JCMU英語プログラム 2016春季受講生募集!!

【教室】

ミシガン日本センター(彦根市松原町)
草津市立市民交流プラザ(草津市野路)

【クラス】

・集中コース(1クラス50分)

Full-Time : 週14クラス

Morning : 週10クラス

Afternoon: 週4クラス

・一般コース(1クラス60分・週1クラス～)

イングリッシュ・ファースト・ステップス

イングリッシュ・ネクスト・ステップス

イングリッシュ・ステップ・アップ

イングリッシュ・スルー・メディア

ソーシャル・イングリッシュ・イン・アクション

テーマクラス

・イングリッシュ・ステップスJr.

・帰国子女クラス(概ね小学校1～6年生)

※受講時間数によってはセンター付属寮の宿泊施設に入寮し、アメリカからの留学生とルームメイトになることも可能です。

詳しくは当センターHPまたはパンフレットをご覧ください。



ミシガン州立大学連合日本センター (通称: JCMU)

〒522-0002 滋賀県彦根市松原町1435-86
TEL 0749-26-3400 FAX 0749-24-9356
URL <http://www.jcmu.net>

■編集・発行 (公財) 滋賀県国際協会 彦根事務所

JCMU newsletter

ミシガン州立大学連合日本センター

The Japan Center for Michigan Universities

No.61
2016 春

Director's Report

Benjamin McCracken, JD

Resident Director of the Japan Center for Michigan Universities

ベンジャミン・マクラケン
ミシガン州立大学連合日本センター所長

Happy New Year! JCMU welcomed 21 new students to Hikone on January 5th. The new students are excited to get started on their studies at JCMU and are learning a lot from the students continuing from last semester.

They are also eagerly awaiting the arrival of the students participating in the Spring Kokunairyugaku Program, which will start in February.

The Spring Kokunairyugaku Program has really come to define spring at JCMU. Every February and March students from around Japan come to JCMU to experience life with students from the United States and other countries.

The students live together with students studying at universities in the United States and learn cultural differences and language firsthand. There are not many places in the Japan where students can interact to this level. JCMU is happy to provide this opportunity for both the Japanese and American students.

One other thing that defines the Spring Semester at JCMU is the annual visit by JCMU Director Kate Simon. Kate will be visiting JCMU in March to participate in meetings with students, faculty, staff, and Shiga Prefecture. These meetings are an important way to keep up the great relationship between Michigan and Shiga.

A new year also brings with it some changes, JCMU is in the middle of doing some renovations. The second floor TV Room is being converted into a study space where students can study twenty-four hours a day. JCMU students prefer to study in the dorm lobby together, but winter cold and summer heat sometimes chase students to their rooms. In order to provide a better study environment the new study room includes an air-conditioned and heater. Hopefully this will not only improve the student experience at JCMU, but also help their grades as well.

Looking beyond the current semester JCMU is excited to offer very unique and interesting May programs that once again include the "Cross Roads of Japan" course taught by Dr. Tyler Atkins. Dr. Atkin's course focuses specifically on the importance of Shiga in Japanese history. Students participating in the course last year enjoyed it so much they requested that it be extended from a two-week course to a three-week course. This is Dr. Atkin's third time teaching at JCMU and we are certainly happy to welcome him back.

With so many good things on the horizon I already feel like 2016 is going to be a great year. I hope everyone can come and take part in the many different things we have going on at JCMU.



明けましておめでとうございます。

JCMUでは1月5日に、この彦根に21名の新たな留学生を迎えました。留学生達はこのJCMUで学ぶというワクワクした思いを胸に抱きつつ、秋学期から継続の先輩留学生達から、日々多くのことを学んでいます。

また、彼らは2月から開始される“春の国内留学プログラム”に参加する(日本側の)学生の到着を楽しみにしています。

JCMUで春学期といえば“春の国内留学プログラム”を意味するくらい、JCMU事業としてすっかり定着しました。米国やその他の国の学生との生活を体験するために、毎年2月と3月に日本全国から学生がJCMUにやってきます。

学生達は、米国の大学で勉強している学生と生活をともにし、直に文化の違いや言語を学ぶのですが、学生達同士がこうしたレベルで交流できる場所は全国でも多くありません。

JCMUが日本とアメリカの両方の学生に、このような機会を提供できることを喜ばしく思います。

もうひとつ、春学期といえば、JCMUディレクター、ケイト・サイモンの毎年恒例であるJCMU訪問があります。ケイトは、3月にここJCMUを訪れ、学生、教員、職員および滋賀県スタッフと交流・意見交換を行います。これらのミーティングは、ミシガン州と滋賀県との素晴らしい絆を引き続き強固なものにするために欠かせないものといえましょう。

現在、JCMUはリノベーションの半ばにありますが、新年に入りいろいろな計画をしています。2階のテレビルームを、学生が1日24時間勉強できる学習スペースに変更します。JCMUの学生は宿舎棟のロビーで一緒に勉強するのが好きですが、冬は寒さ、夏は暑さのせいで(エアコンがよく効く)個々の自分達の部屋で勉強せざるを得ませんでした。そこで、より良い学習環境の提供として、新設する学習スペースに冷暖房を完備します。これで、学生のJCMUでの経験をより良いものにし、彼らの成績向上につながればよいと思います。

次学期になりますが、JCMUでは、かつてテイラー・アトキンス博士が教鞭をとった“Cross Roads of Japan”コースを、ユニークで興味深い(5月の)プログラムとして再び提供することができ興奮を禁じ得ないところです。アトキンス博士のコースは、日本の歴史の中で特に滋賀の重要性に焦点を当てています。昨年と同コースを受講した学生は、とても面白かったので、2週間のコースを3週間のコースに延長してほしいと要求したくらいです。これはアトキンス博士のJCMUでの3度目の授業であり、彼を再び迎え入れることができるのは嬉しい限りです。

もうすでに、多くの喜びの兆しが見えてきており、私は2016年がとても素晴らしい年になるであろうと思っています。みなさん、是非、ここJCMUへお越しいただき、私たちが企画するいろいろなプログラムやイベントにご参加ください。

今号からJCMU学生支援コーディネーター (Student Services Coordinator:SSC) の原田泰彦によるレポートを始めます。以下、不定期で掲載していきます。



SSC REPORT JCMU学生支援コーディネーター 原田泰彦

「彦根の魅力」

皆様、こんにちは。2013年秋学期より、ミシガン州立大学日本センター(JCMU)に学生支援コーディネーターとして勤務させていただいております、原田泰彦と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

「学生支援コーディネーターって何？」という質問をよくされるのですが、簡単に言うと、「寮母」(私は、男です。で、「母」ではなく「兄」のほうが良いです。)とでもいえる仕事で、要するに生徒のこのJCMUでの生活面の面倒を見る仕事に就いております。

この仕事の詳細についてはまた次号でお話することにして、私から見た「彦根の魅力」を「JCMU」という学校以外という点でいくつかお話ししたいと思います。

まず、第一に彦根の歴史に彩られた風光明媚さがあると思います。「琵琶湖」というのが大きなポイントになってくると思います。春夏秋冬を通して、朝から夕方に見せる湖と空、そして琵琶湖越しに遠くに見える山々の風景がいろいろな美しい表情を見せてくれ、見飽きることはありません。

また、そこに集う水鳥や鷹などの鳥たち、湖畔に植えられた松などの木々も私たちの心を和ませてくれます。また彦根といえばなんといっても井伊家の名城「彦根城」です。国宝に指定された天守閣をはじめ、日本で最大級の武家庭園「楽々玄宮園」、彦根のお宝ゆるキャラ「ひこにゃん」や国宝「彦根屏風」に出会える彦根城博物館はもちろん、春のお堀の周りのまばゆいばかりの桜や、秋の紅葉など彦根城は彦根のみんなの心のよりどころになっています。城下町だけあって、井伊家ゆかりの寺社仏閣などもたくさんあり、JCMUの学生も授業の一環で訪れたりしています。

第二に、モダンな面もしっかり持ち合わせていて、生活に困らないという魅力です。もちろん彦根は大都市に比べて新しい情報量は断然少ないかもしれませんが、ただ、大都市のように人口が過密していたり、せかせかトレンドを追いかけて急いでいる場所ではなく、ゆっくり時間が流れているのはとても魅力的だと思っています。

彦根という町は、最初に話しました自然や歴史的な場所とともに、ショッピングモール、郷土料理をはじめ色々なレストラン、昔からある和菓子屋、喫茶店、衣料品店などもたくさんあり、大変便利で魅力的な街です。(思った以上に、ラーメン屋が多くてびっくりしました。あるところでは一つの通りに5、6軒あったりします。)

また、外国から来た学生にとって心配なことの一つに「病気になったときどうするの？病院はあるの？」ということも挙げられますが、彦根には3つほど総合病院がある上、様々な科の医院や、歯科、薬局もたくさんあるため、病気になってもあまり困りません。また、JCMUからほど近いところに、国立滋賀大学、滋賀県立大学などもあり、授業を受けたり、同じ世代の新しい日本人の友達を作ったりもできます。

第三に、思った以上に彦根は他の都市に出やすい場所ということも、私がJCMUに来て気付いたことの一つです。JR彦根駅から、新快速で京都に出るのに1時間弱、大阪へは1時間半、名古屋も米原から1時間半ほど、中部国際空港までほぼ2時間、東京へは米原から新幹線で2時間半、東京行きの夜行バスも彦根駅からほぼ毎日出ています。ですので、たくさんの学生が週末や連休などを使って、これらの大都市に旅行をしています。

彦根の良さはここでは書ききれない程、まだまだたくさんありますが、皆さんもこの魅力的な「彦根」にあるJCMUに来て日本語・英語を勉強しませんか？一生で忘れられない思い出がたくさんできると思います。



多賀大社にて学生とマクラケン所長

彦根商工会議所との連携・協力

JCMUと彦根商工会議所は2014年に『産学連携に関する業務連携・協力に関する協定』を締結し、地域経済の国際化への対応と相互の人材育成を積極的に行っています。

2015年は商工会議所会員向けのビジネス英会話セミナーおよび2度の「彦根・ミシガン国際交流会」を開催しました。

ビジネス英会話セミナー

これまで、JCMUは彦根市商工会議所と協働して『ビジネス英会話セミナー』を開講してきました。JCMU側で講義内容の検討と講師の派遣を行います。受講生にはビジネスに関する英会話を基礎から学んでもらっています。

2015年はその3シーズン目に入り、入門コースに加えて中級コースを新たに設定しました。

講師は英語プログラム教官のマندی・クラインが務め、4月から7月にかけて、無料体験レッスンも含め、2コース各13回の講義を行い、20名超の方に学んでもらい、好評をいただきました。

このセミナーは今後も続けていきますので、現在、海外にビジネスを展開されている事業所の方やこれから海外進出を検討される方々に社員研修や自己啓発の機会として、ぜひご活用いただきたいと思っています。



セミナーのチラシ

彦根・ミシガン国際交流会

2015年は6月と12月に『彦根・ミシガン国際交流会』を開催しました。留学生ほぼ全員と彦根商工会議所関係者のみなさんおよびマクラケンJCMU所長はじめスタッフやその家族の方たちが参加しました。

6月の交流会は琵琶湖での船上パーティーという形で行いました。パーティーのアトラクションではゲストミュージシャンのキーボード弾き語りによる日米の歌と軽妙なトークが船内を大いに盛り上げました。

12月の交流会はJCMU宿舎棟において、みんなで「和菓子作り」の体験をしながら、交流を深めました。

まず、はじめに「わかさ堂」の林氏による「日本の文化、風習と和菓子の関係」についてのお話と、続けて実演を兼ねた作り方の説明があり、その後グループに分かれ、各自が慣れない手つきで一生懸命、「どら焼き」と「おはぎ」を作りました。作った後は、その場で早速ほおばる者や大事に持ち帰る者など様々でした。

いずれもみなさんと留学生がお互いに英語と日本語を交えながら楽しく国際交流を図ることができました。



12月の交流会の様子